

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

平成30年 5月28日 (月)

2 確認箇所

- ・ 2号機原子炉建屋西側構台前室
- ・ 遠隔操作室

3 確認項目

2号機原子炉建屋西側壁面の開口設置作業の状況

4 確認結果の概要

東京電力は、2号機使用済燃料プール内の燃料取り出しに向けた上部建屋解体に先立ち、放射性物質の飛散抑制対策を徹底するため、オペレーティングフロア内の線量及びダスト濃度等の調査を計画している。

ロボットを投入して調査する計画であるが、本日（5月28日）、2号機原子炉建屋西側壁面にロボットを投入するための穴を開ける作業が開始されたことから、作業の状況等を確認した。（前回確認：[平成30年5月14日](#)）

- ・ はじめに、2号機原子炉建屋西側構台前室内において、協力企業作業員が壁の穴(※)にホースを差し込み、内壁及び床面に飛散防止剤を散布する作業が行われた。（写真1）
※内壁面の汚染密度を調査するために開けられた穴
- ・ その後、遠隔操作室において、遠隔操作重機を操作し、壁に穴を開ける作業が行われた。（写真2）
- ・ 壁は、29ブロックに分割されており、重機で引っ張って取り出す計画であるが、本日は2ブロックが取り出された。（写真3）
- ・ なお、作業前後において、原子炉建屋周囲の空間放射線量率及びダスト濃度に有意な変化は無かった。

調査用コア穴にノズルを投入し、
飛散防止剤を散布している様子



(写真1-1)

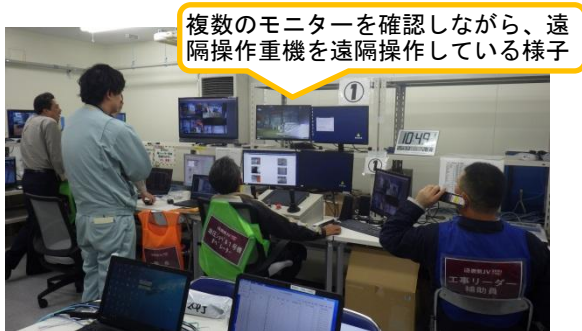
※モニター越しに撮影

飛散防止剤



(写真1-2)

※現場で撮影



(写真2)
※遠隔操作室で撮影



(写真3-1)
※モニター越しに撮影



(写真3-2)
※モニター越しに撮影

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、前日と比べ有意な変動は確認されなかった。